

観光問題

問 村内で合宿する団体に助成を

答 先進地の状況を見ながら検討



田中 榮一 議員

「スポーツ合宿推進について」

問 スポーツ合宿を行う団体の増加を目的に、宿泊費の一部助成を行う制度を、独自にスタートしている全国の地方自治体があるが、村もこの制度を取り入れては。

村長 全国各地で補助できる仕組みがあり、福井県では、運動系、文科系を問わず、一人一泊1000円から1500円を2泊から3泊、上限金額を20万円から50万円と定めた範囲で補助を行っている現状があります。村としては、施設が十分でなく、利用が重なった場合は、くし引

きをしている状況であり、現在のところ補助をしていける状況ではありません。今後については、先進地の状況を見ながら検討してまいります。

問 若者のスキー離れと、景気の低迷が続いており、今シーズンの冬季観光客の入り込み状況は依然として伸び悩んでいる。冬の落ち込みを夏でカバーしようと、グリーンシーズンの誘客に向けて、多くの宿泊業を営む皆さんは頑張っているところで、今後、村としての合宿誘致対策は。

村長 スポーツ施設や資源を活用した誘客環境を創出することにより、産業振興による地域経済の活性化を図り、魅力ある活力に満ち溢れた村を創造していく一つの方策としてスポーツ合宿誘致を考えています。当然、施設整備が必要になりますので、財

政状況を見ながら、白馬ならではの施設整備に取り組んでいきます。

【スポーツ基本計画策定について】

問 国の方針であった「白馬総合型スポーツクラブ」が発足し、スポーツに対する村民意識が今まで以上に向上しており、基本計画策定に向けて積極的に取り組むべきと考えるが。

長教育 スポーツ基本計画は、スポーツ基本法に基づき、文部科学省で、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため平成24年3月に策定されました。地方公共団体は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとされています。長野県は、スポーツ推進計画策

定について平成25年3月に計画を決定する運びとなっております。村としてもスポーツ環境を整備することは、地域社会の再生に重要な意義を有す



白馬でスポーツ合宿（茨城県の高校） 7月25日 森上村営グラウンド

るものであり、策定については県の意向を踏まえ、スポーツ推進委員会において検討します。